

教 科	保健体育	科 目	保 健
履修条件 対象生徒	必履修 デザイン科 2 学年		
学習目標	個人及び社会生活における健康、安全に関する基本的事項について理解を深め、生涯を通じて自らの健康管理を考え、自ら進んで健康的な生活を実践する態度を身に付ける。		
学習方法	〔授業〕 教科書「現代高等保健体育（大修館）」の内容を中心に授業を行う。加えて保健に関連のある新聞記事等の切り抜きを資料として活用して、生徒がより身近な問題として興味・関心をもって意欲的に学習できるようにする。 〔家庭学習〕 学んだ内容の復習をして疑問点を解決しておく。次時の発表準備をしておく。 〔補習・その他〕 授業で利用したプリント類は各自でノートにファイルするなどして保管しておく。ノートは授業担当者の指示で提出できるようにまとめておく。成績不振者には特別に課題を与える。		
学習計画 と ねらい	< 1 学期末考査まで > 3 単元 生涯を通じる健康 1 ライフステージと健康 2 思春期と健康 3 性意識と性行動の選択 4 妊娠・出産と健康 5 避妊法と人工妊娠中絶 6 結婚生活と健康 7 中高年期と健康 < 2 学期末考査まで > 8 働くことと健康 9 労働災害と健康 10 健康的な職業生活 4 単元 健康を支える環境づくり 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁・土壌汚染と健康 3 健康と環境にかかわる対策 4 ゴミの処理と上下水道の整備 5 食品の安全性 6 食品衛生にかかわる活動 < 学年末考査まで > 7 保健サービスとその活用 8 医療サービスとその活用 9 医薬品の制度とその活用 10 さまざまな保健活動や社会的対策 11 健康に関する環境づくりと社会参加 ○生涯の各段階における健康について学ぶ。 ○労働と健康について学ぶ。 ○環境問題と健康について学ぶ。 ○どのような保健活動や対策が行われているか理解する。 ○食品の保健について学ぶ。 保健・医療制度及び地域の保健医療機関の活用について学ぶ。 ○保健活動や社会的対策について学ぶ。		
評価基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に向かう態度
	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身につけようとしている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的で計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。
評価方法	○確認テストや考査、学習ノートの記入などを評価の対象とする。 ○授業での発表や取り組み（発言、グループ活動など）、課題やレポートへの取り組みなどを評価の対象とする。		